

子ども食堂から一定距離圏内の 小学校に在籍する児童の割合 について—広島県内の解析—

広島国際大学健康科学部

医療経営学科

江原 朗



日本小児科学会 COI 開示

発表者名： 江原 朗

日本小児科学会の定める利益相反に関する
開示事項はありません

背景

- 子どもの貧困対策や虐待などの早期発見のために地域社会における子どもの見守りが必要とされ、その拠点として「子ども食堂」が注目されている。
- その数は年々増加傾向にあるが、アクセスに関しては十分な知見がない。

子どもの死因に占める自・他殺の割合 (全国値, 令和3年)

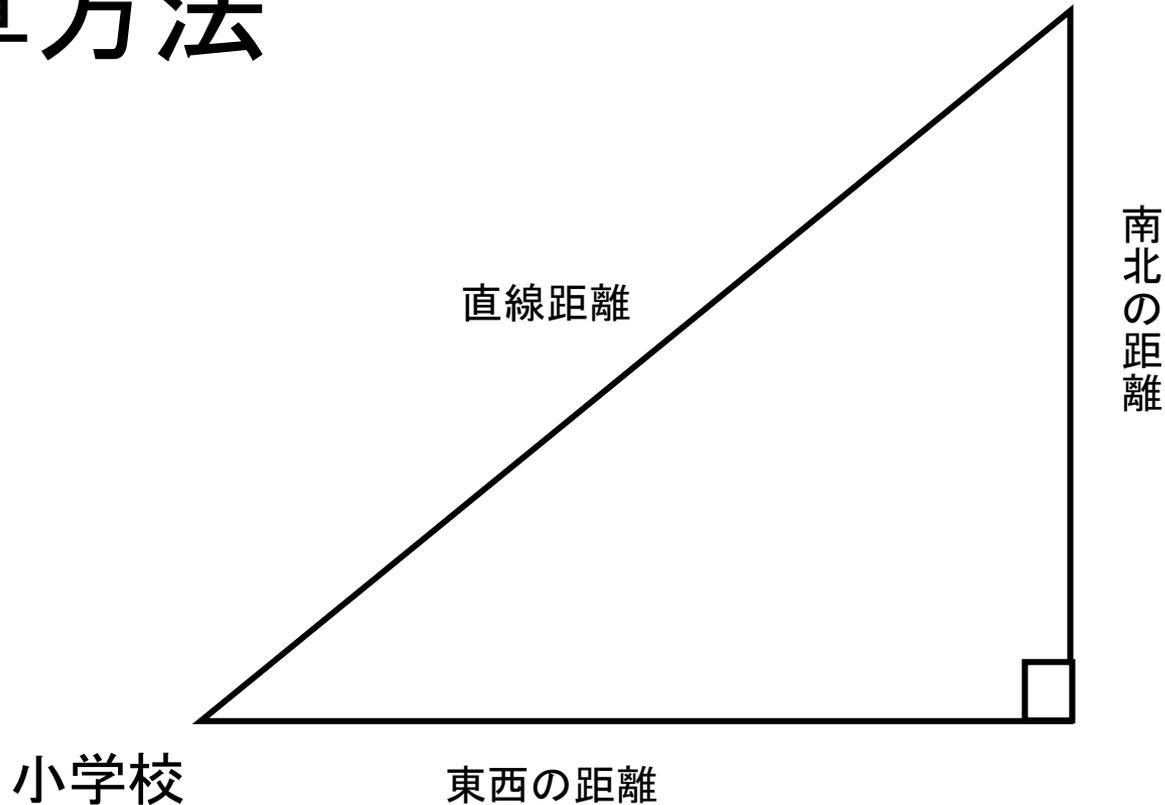
	総死亡数	自殺	他殺	自殺・他殺の割合
0～4歳	1883	0	16	0.8%
5～9歳	330	0	10	3.0%
10～14歳	441	128	6	30.4%
14歳以下	1255	128	32	12.7%

自殺・他殺の死亡者数は死因10以内で確認できた数を示す。

方法

- 「子ども食堂」のリストは(公財)ひろしま子ども夢財団, 小学校の名称, 所在地, 児童数は, 広島県教育委員会のホームページから引用した.
- 「子ども食堂」および公立小学校の所在地を緯度経度に変換し, その差から三平方の定理により直線距離を求め, 一定距離圏内の小学校に在籍する児童数を特定した.

計算方法



南北の距離：緯度 1 度 = 111.3km

東西の距離：経度 1 度 = 111.3km × cos(小学校の北緯)

$$\text{直線距離} = \sqrt{(\text{南北の距離の 2 乗}) + (\text{東西の距離の 2 乗})}$$

結果

- 広島県内の公立の小学校区の11.1%にのみ「子ども食堂」は存在していた.
- しかし, 県内の児童にとり, 在籍する小学校と最寄りの「子ども食堂」との距離の中央値は1~2km未満であった.
- 距離の中央値は自治体の規模によって異なり, 政令指定都市では1~2km未満, それ以外の市町では2~3km未満であった.

広島県内の公立小学校の学区内における「子ども食堂」の有無

区分	自治体	公立小学校の 学区数	「子ども食堂」がある 小学校区	
	数		数	割合
政令指定都市	1 (広島市)	141	27	19.1%
中核市	2 (福山市・呉市)	109	7	6.4%
その他の 小規模な市	13	161	15	9.3%
郡部(町)	7	40	1	2.5%
県全域	23	451	50	11.1%

最寄りの「子ども食堂」から一定の距離圏にある公立小学校在籍児童数の割合

距離圏	在校児童の割合				
	政令指定都市	中核市	その他の小規模な市	郡部(町)	全域
500m未満	20.2%	7.7%	5.4%	8.6%	12.8%
1km未満	42.2%	17.5%	15.7%	17.9%	28.1%
2km未満	<u>68.6%</u>	35.2%	39.2%	53.8%	<u>52.2%</u>
3km未満	81.4%	<u>53.5%</u>	<u>51.9%</u>	<u>57.7%</u>	65.8%
4km未満	89.4%	65.3%	68.7%	64.2%	76.8%

下線は中央値を示す

結論

- 広島県内の公立小学校に在籍する児童の半数は、小学校から2km未満の移動で「子ども食堂」に到達することができた。
- しかし、移動距離の中央値は自治体の人口規模により差が見られた。

本研究は文部科学省特色ある共同研究拠点の整備の推進事業 JPMXP0619217850 の助成を受けたものです。